

# 大聖寺沖地震踏査報告 (1)

福井測候所 山下 勇

3月13日から14日にかけて金津經由、芦原より北潟、吉崎、塩屋、大聖寺に出て、これより橋立、片山津をへて金津を調査し帰任した。今回の被害についての共通点として戦後或いは福井震災後の復旧・新設工事に多く、又福井震災当時の恐怖感から抜け切っていない為、避難の際の負傷者が見られる。

各地に於ける被害状況は次の通りである  
(第1図参照)。

## 北潟村 (V\*)

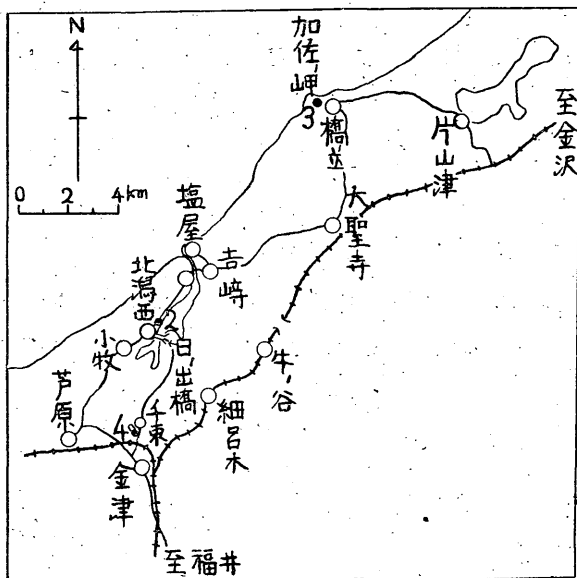
家壁は殆んど全戸亀裂又は剝脱し、道路には亀裂多く、所々に軽度の山崩れを生じ、墓石は大半倒潰または移動し(第2図参照)、北潟湖岸には宅地の沈下の為2~3°傾斜した家屋も見られ、電灯、電話線は切断した。井戸水は浜坂の湖岸ぞいほ濁水、他は増加し、水の濁りの見られた所もある。総体的に見て北潟湖北西側ぞいに被害多く、南東側は僅少である。

## 吉崎村 (V)

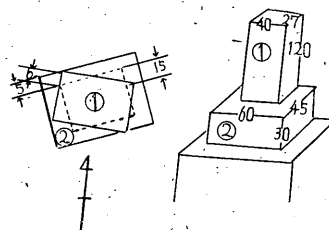
家壁に亀裂を生じ、石垣等に一部損壊が見られる程度で被害は北潟村に比較すれば少なくなっている。

## 塩屋村 (V)

家壁は亀裂を生じ剝脱したのものもあり、家屋の一部損傷は相当数にのぼる。港湾施設に亀裂を生じ、道路上の亀裂も数ヶ所見られた。墓石の移動は見られたが、倒潰は見当らなかつた。避難の際軽傷を受けたものが5名をまつた。なお、地震に伴う海面の異状は認められなかつたとの事である。



・ 2 (第2図参照)      ・ 3 (第3図参照)      ・ 4 (第4図参照)  
第1図



第2図 数字の単位は cm  
墓石の材料花崗岩

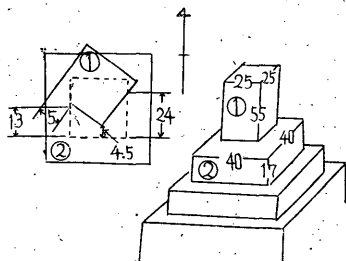
\*括弧内は震度

**大聖寺町 (V)**

家壁に亀裂を生じ(鉄筋コンクリート建国警庁舎の壁にも見られる), 屋根瓦, 硝子破損程度は相当数あるが小破損の域である。電話線(市外10回線, 警察4回線), 電灯線は切断した。

**橋立村 (V)**

全戸壁に亀裂または剝脱を生じ, 道路, 堤防の破損, 崖崩れの軽度のもが見られ, 墓石は7割程度が倒潰または移動している(第3図)。又生後2ヶ月の乳児が避難の際窒息死した。震動は水平方向より上下動の方が強く感じられた。



第3図 数字の単位は cm  
墓石の材料は花崗岩

**片山津町 (V)**

温泉地帯である為震動は強く, 病臥中の老妾1名は地震の衝撃の為死亡した。家壁の亀裂は全町に及び旅館のタイル張り浴槽に亀裂が入り使用不能となつたものもある。墓石, 鳥居, 石垣等の倒潰, 損傷も相当見られる。又湖岸ぞいの土地は沈下した為傾斜した家も見られる。しかし温泉の湧出量, 水温は地震前後共変化しなかつたが, 湯送管破裂の為1日送湯が断たれた。

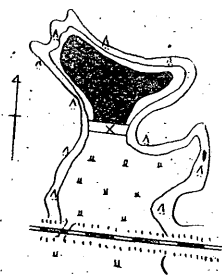
**細呂木・牛谷間北陸本線**

細呂木駅北方200mの地点より330mの区間に於いて路床崩壊の為レールは南側へ30cm移動し, 沈下は平均30cm, 最大90cmに及びこの為北陸本線は不通となつた。

註; 路床(地上約3mの築堤)が炭殻を主とした工事の為, 脆弱であつたことに起因するとの説もある。

**金津町 (V)**

家壁は亀裂または剝脱し, 陶器店, 食糧品店等の商品破損は相当類にのぼる。又避難の際窓から飛出して軽傷を受けた者が1名あつた。電灯, 電話線は断線, 水道管も所々切断した。又同町千東の江ヶ谷地籍の用水池の堤防(23年福井地震後復旧, 26年4月完成)約8間が決潰し(第4図), 満水状態にあつた水は土砂礫を押し流し, 田4町歩を埋没, 12町歩に被害を与えた。



第4図

(参考資料) 3月14日午前8時頃の地震(第3表参照)の際, 橋立村加佐の岬北西約11湮附近に出漁中の漁船(17噸)が船尾に流木が激突したような衝動を受け, 船体が海面上に押し上げられ, スクリューの空転が感じられたが, 直後船体は海面にたたきつけられたように思い, これだと陸地の被害は甚大なものと急遽帰港した。当該船より約1里離れた海上の漁船では全然感じなかつたとの事である。(以上乗込み漁師談)